

共通開講科目(アオッサ)

女性学入門 / 福井工業大学

項目	文字数の目安	説明	入力欄
科目名/提供大学名	20		女性学入門
科目名(英文)	20	留学生向けの英文表記。	Introduction to women's studies
対象学年			原則として、全学年。
開講時期		前期、後期の別	前期
単位数			各大学の扱いに委ねる。
科目区分		必修、選択等の別	原則として、選択。
授業形態・開講形態	30	講義、演習、フィールドワーク等の別。	講義
担当教員名	20		武内 昭子
オフィスアワー	適宜	研究室の場所・学生への対応可能な時間帯を記載。無理な場合は、「講義の前後に質問等を受け付けます。」等と記載。	必要があれば、講義の前後に質問等を受け付けます。
教員メールアドレス	適宜	支障がなければメールアドレスを記入。	akitake5963@yahoo.co.jp
概要	100	授業内容を簡略に記述。	社会には「男性／女性」といった二分法に基づく性差の枠組み(性差別構造)が、非常に見えにくいかたちで存在しています。授業では家族、恋愛、男女のコミュニケーションといった身近な話題から、労働、法律、社会保障政策といったマクロな問題まで取り上げます。私たちの性差をめぐる思い込みや固定的な性別役割意識が、社会制度の中でどのように制度化、法制化され、それらが日常生活にどのような影響を及ぼしているかについて学習します。その学習を通して、私たちが性別の如何に関わらず、ひとりの人間として尊重され、自由に生きることができるジェンダー平等な社会のあり方について考えます。(時間数:90分×1時限×15回)
学習・教育目標との関連	100		—
授業目標・目的	150	授業を通じ、学生がどのような知識やスキルを身に付けることができるのかを具体的に記述。	この授業を受講しても「女子力」が身についたり、女性の気持ちが変わり女性にもてるようにはなりません。しかし、私たちがとりまく性差別構造を学習することで、社会がなぜ女性に「女子力」を求めるのかを理解できたり、性差別に悩まされる女性へ共感できるようになるかもしれません。また、授業で取り上げる様々な法律(憲法、民法、その他労働法)やメディアの分析を通して、リーガルリテラシーやメディアリテラシーなどのスキルが得られ、社会人としての基礎的知識や教養を身に付けることができます。
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)	選択	この授業で身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)を8つのキーワードから選択(複数選択可)。	<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力
学生の目標・到達目標	200	授業目標に対して、学生がどのようなレベルに達することを求めるのかを記述。	① 社会に存在する性差の枠組み(性差別構造)を見抜く力(ジェンダーに敏感な視点)を習得できる。 ② セックス/セクシュアリティ/ジェンダー・アイデンティティとの関係性について理解できる。 ③ 様々な法律(憲法、民法、その他労働法)やメディアの分析を通して、リーガルリテラシーやメディアリテラシーなど、社会人としての基礎的知識や教養を身に付けることができる。
授業計画・授業内容	1000	15回分の内容を具体的に記述。	第1回:【オリエンテーション】 本講義の目的と内容についての説明とクイズ、アンケート 第2回:【多様な性】 セックス、ジェンダー、セクシュアリティ、セクシャル・マイノリティなど 第3回:【フェミニズム(女性解放運動/思想)の歴史の変遷(1)】 フェミニズムの誕生から第一期フェミニズムまで(女性参政権獲得運動など)、ミニレポートの課題提出 第4回:【フェミニズム(女性解放運動/思想)の歴史の変遷(2)】 第二期フェミニズムから現代まで(母性保護護論争、女性学の誕生など) 第5回:【教育とジェンダー】 隠れたカリキュラム、教科書の中のジェンダー・バイアスなど 第6回:【スポーツとジェンダー】 体力テストのジェンダーバイアス、指導者の性暴力などなど 第7回:【労働とジェンダー(1)】 雇用機会均等法(セクハラ、マタハラ)、男女賃金格差など 第8回:【労働とジェンダー(2)】 女性活躍推進法、ワーク・ライフ・バランスなど(DVD視聴) 第9回:【男女共同参画社会】 男女共同参画社会基本法、女子差別撤廃条約など 第10回:【家族とジェンダー(1)】 変わる恋愛、結婚、子育て事情、性別役割分業など 第11回:【家族とジェンダー(2)】 介護、年金、高齢者貧困など 第12回:【暴力とジェンダー】 親しい間柄で起こる暴力(デートDV、ストーカー行為など) 第13回:【表現とメディアの中のジェンダー】 CM、アニメ等映像文化の中のジェンダー(CM視聴) 第14回:【コミュニケーションとジェンダー】 男女のコミュニケーションの違いと特徴(DVD視聴) 第15回:【期末テスト(時間:90分)】 選択肢問題と筆記問題あり(ノートや配布資料の持ち込み可)
授業方法	適宜	特色のある授業方法を記載。	担当講師による講義のほか、映像(DVD、CM)の上映もあり。受講生が少数の場合は、グループディスカッションもあり。

キーワード	適宜	授業内容に関して重要であると思われるキーワードを5つ程度記入。	ジェンダー、フェミニズム、セクシャリティ、ドメスティクバイオレンス(DV)、セクシャルハラスメント
教科書	100	購入の必要のあるもの。	なし
参考書	100	購入の必要まではないもの。	なし
評価方法・評価基準	100~200		授業後のコメントペーパーと授業態度(30%)、期末テスト(50%)、ミニレポート(20%) * 公欠、病欠など正当な理由以外の欠席は4回まで。5回以上授業を休んだ場合、単位取得はできません。
関連科目	適宜		社会学、心理学、経済学、法学など
履修の要件	100		講義やワークショップに積極的に参加すること。
必要な事前・事後学習	100		身のまわりのあらゆる出来事が「女性学」の研究対象となるので、性別等により私たちが享受できる権利やサービスに違いがあるのかどうか、また、違いはなぜ生まれたのかについて、普段から意識するよう心がけてください。
その他・注意事項	150		公休を取得したい場合は、事前に講師に申し出てください。 また、病欠をした場合は、次の講義でそのことを講師に報告してください。